

令和6年度 キャンプ飯deお泊り会 事業報告書

1 事業内容

(1) 趣 旨 当施設を活用した体験活動（簡易炊飯、星空観察）を提供することによって、家族で防災や自然の豊かさに対する意識や重要性について理解を深め、啓発の促進を図る。

(2) 対 象 県内在住の家族6組

(3) 期 日 令和6年11月23日（土）・24日（日） 1泊2日

(4) 日 程

12日（土）	内 容	場 所
15:00	受付	本館宿泊棟
15:30	開会行事～オリエンテーション	創作室
16:00	キャンプ飯に挑戦～家族の時間（食事・たき火）	創作室
19:30	星空解説～家族の時間（たき火）	創作室前広場
21:00	入浴～家族の時間	本館浴室
23:00	消灯・サイレントタイム	本館宿泊棟
13日（日）	内 容	場 所
7:00	起床	本館宿泊棟
7:30	チョコバナナホットサンドに挑戦	創作室
9:30	宿泊室点検～退所	本館宿泊棟
11:00	最終退所	

2 参加者数 3家族12名（申込：6家族23人）

3 満足度 満足 100%

4 参加者の声 アンケート参照

5 活動の様子



6 成果と課題等

(1) 成 果

・家でもやりたい！

メスティンとトホットサンドメーカーが欲しくなった。家庭でも具材を変えて作ってみたいとの声があり、探求心の醸成の一助になった。

・叱られることが正解？

チキンラーメンを袋の上から砕くことは、通常家庭では叱られることだが、今回はそれが正解。日頃できないことができる喜びを感じてもらえた。

(2) 課 題

・大人は大満足、子どもは飽きた

たき火と星空観察での感想である。生憎の曇り空で満足な星を観察することができなかったが、たき火は予定通り実施した。その結果、子どもにとっては退屈な時間となったようである。子どもたちには、マシュマロやお菓子などを準備しておき、たき火以外の楽しみを用意しておくのがよい。